

静岡県のプラスチックモデル産業

2019(令和元)年の静岡県のプラスチックモデル出荷額は222億5800万円で、**全国出荷額の約9割**を占めています(2020年「工業統計調査」経済産業省)。

静岡県は江戸時代からの**伝統を継承する木工産業**が盛んで、プラスチックモデルも戦前の**学校教育用木製模型飛行機製造**にその淵源があります。1950年代に入り



プラスチックが新しい素材として広がると、静岡県でも多くの木製模型飛行機製造会社が木工産業の技術を活かしてプラスチックモデル製造へと転換を図りました。その結果、静岡県には、多くのプラスチックモデル製造会社の本社や製造拠点が置かれるようになりました。

2009年に静岡県で開催された「国民文化祭しずおか2009」に合わせて、ふじっぴーのプラスチックモデルがバンダイホビーセンター(静岡市葵区長沼)の協力で製作され、機運を盛り上げました。